

安全運転

ほっと NEWS
2010年11月号

今月のクイズ

次の文章は普通自動車免許の取得時及び更新時の視力検査の合格基準です。①②の中に正しい数字を当てはめてください。（答えは裏面）

視力は両眼で(①)以上、片眼それぞれ(②)以上。
片眼(②)未満、もしくは片眼が見えない場合は、
他眼の視野が左右150度以上で視力(①)以上。



TOKIO MARINE
NICHIDO

視機能の特徴を知ろう

人は外からの情報のうち約8割は眼から得ているといわれているため、眼から得る情報は自動車を運転するには非常に重要となります。

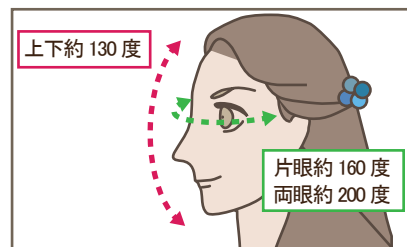
今月は、自動車を運転するために知っておくべき、眼から情報を得る機能（視機能）の特徴をみてみましょう。また、視機能が低下していると感じる場合は、眼科での検査を受け、必要に応じて視力の矯正などをしましょう。

1 視野

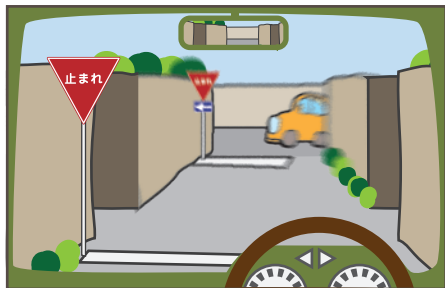
視野とは、眼球を動かさずに周辺を見渡せる範囲をいいます。

視野の範囲は、上下約130度・左右に片眼で約160度・両眼で約200度あるといわれています。

正常な視野範囲で運転すると、路肩に立っている人や後方から追い越そうとするバイクを知覚し、危険を察知することができます。ただし、視神経障害や緑内障など、何らかの原因により視野が狭くなることがあります。



2 静止視力



静止視力とは、運転者が静止した状態で先にある信号や道路標識、道路標示など、静止しているものを見分ける能力のことをいいます。

静止視力を測定するために、視力検査で皆さんにもお馴染みの、主にCの形のランドルト環が描かれた視力表を用います。静止視力が悪くなるほど、小さなランドルト環の切れ目を判別しづらくなります。

3 動体視力

動体視力とは、交通量の多い交差点で左右に走行する車や、対向車の動きなど、動いているものを眼で捉えて追う能力のことをいいます。

静止視力は、静止した状態で測定しますが、動くものを見る動体視力は静止視力より低下する傾向があります。

また、加齢とともに動体視力は低下していきます。そのため75歳以上の方が運転免許を更新するときには、高齢者講習で動体視力の検査が行われます。

4 深視力

深視力とは、自車の前後の車や対向車との距離感や、自車と縁石との空間など、遠近感やものの立体感を正確に把握する能力のことをいいます。

中型以上の車両やけん引・二種の運転免許取得、および更新時に深視力検査が義務付けられています。

夜間に運転しているとき、対向車などのライトが眼に入ったり、ライトが眼から外れたりすると、見えづらくなることがあります。そのため、眼はライトのまぶしさに慣れようと網膜の感度を低下させたり、ライトが外れて暗闇に戻ると暗闇に慣れようと網膜の感度を増大させたりします。これを明暗順応といいます。通常視力が回復するまで危険を伴う可能性もありますので、特に夜間においては車間距離や速度に配慮した運転を心がけましょう。

また日中でも、明るいところから暗いトンネルに入ると、眼が暗闇に慣れて視力が回復するまで数秒かかります。これを暗順応といいます。



加齢に伴う視機能の低下

これまでに述べた視機能は、加齢に伴い低下するといわれています。それでは、職業ドライバーを有する事業所に対して行った視機能に関する調査結果についてみてみましょう。

自動車安全運転センターが発表した平成 21 年度調査研究報告書「加齢に伴う職業ドライバーの運転技能の変化に関する調査研究」によると、免許保有者の年齢層別 1 万人あたりの事故件数は、30 歳代から平均 (89.9 件) を下回り下降していますが、図 1 のとおり 50 歳から上昇に移り、55 歳以降では事故率が急激に高くなる傾向がみられます。

上記調査では、職業ドライバーを有する事業所に図 1 の傾向を提示し、55 歳以上で事故率が高くなる原因としてどのような要因が関連していると思うかを質問した結果、図 2 のとおり 95% の事業所で「視力の低下」が関連していると回答しています。このことから、事故件数の増加は、加齢による視機能低下が原因であると考えている事業所が多いようです。

また、大型運転免許を保有している職業ドライバーを対象に静止視力・視野・深視力・動体視力・夜間視力（明暗順応）の検査を行ったところ、50 歳以上はすべての検査において、50 歳未満の平均値を下回る結果となりました。実際に加齢とともに視機能全体が低下していることもわかります。

図 1：「免許保有者の年齢層別 1 万人あたりの事故件数」

財団法人交通事故総合分析センター「平成 20 年版 交通統計」より引用

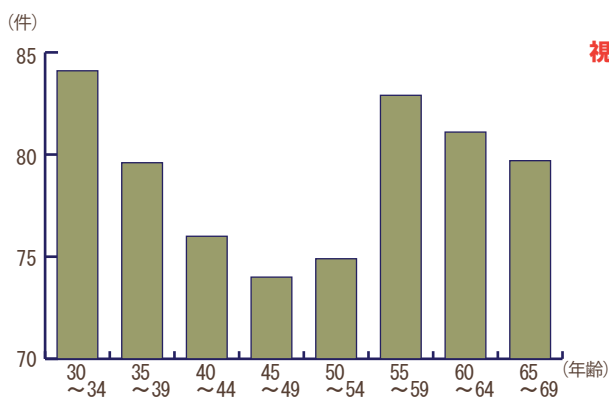
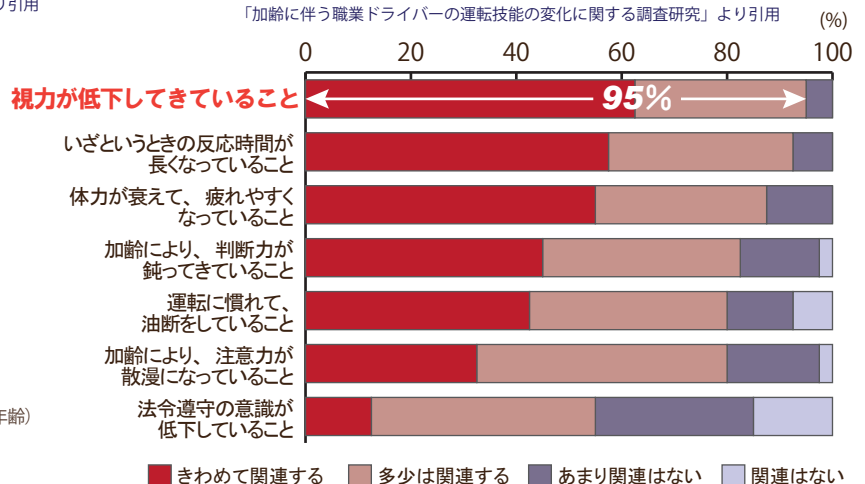


図 2：「55 歳以上で事故率が高くなる原因」

自動車安全運転センター 平成 21 年度調査研究報告書
「加齢に伴う職業ドライバーの運転技能の変化に関する調査研究」より引用



安全運転のために、眼をいたわり、
定期的に眼科検診を受けましょう。

今月のクイズの答え

① 0.7 ② 0.3

ご用命・ご相談は...

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0087

新潟市中央区東大通 2-4-1 新潟パナソニックビル 6F

TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921

E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp

URL http://www.hokensystem.co.jp



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課